

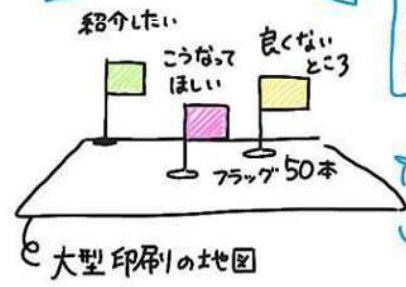
2022/12/8(木) 第3回 大谷・小鹿地区 まちづくり検討会議 - 地区内の活動報告 @シ-サイド大谷

バンビーノプロジェクトについて

阿部ゼミ 中垣さん



みんなで作る
地域オススXマップ



日時 2022年11月20日
参加者 79人

テーマ
子どもたちが
地域を大切に考える。

課題

- ① もっと他のブースと連携した企画にできれば
- ② 子どもだけでなく大人の人にも参加してもら

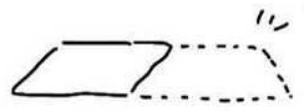
担当より / 補足

静岡大学 阿部教授



継続する ことが大切

用意した大きな地図を活用して...
来年はもっとひろくつなげる。



今年でありではなく
来年につながる形で
継続できれば...

まち探検ゲームについて

AVEC (アベック) 今村さん



テーマ

大谷・小鹿地区の **再発見**

作成の流れ



来年へ向けた改善点も見つかった

みんなのチャレンジ基地 ICLa

ESUNE 小森さん



目指していること

「挑戦」と「応援」が循環する
チャレンジにやさしい静岡

背景

2022年の大学生は...



みんなのチャレンジ基地 ICLa で起きていること

高校生による//
エシカル消費ワークショップ

大学生による//
決算書の読み方講座



大人による//
BARの開催



ICLaとしてあたらしく
大谷・小鹿の
皆さんをもっと知り
たいと思っています!



会の目的

地域ならではの弱み・強みを出して、まちの皆さんの
できること、できない事、考えている事の共有

バンビノプロジェクトについて

交流・場づくりも目的に企画
課題点も多くあるが...気づきが多かった



AVECの学生さん

地域の事を
知るチャンスももらえて
良かった!!



具体的な
アクションを
どう起こして行く
のかが大切

大谷の地域の「農」資源について

久能山のしめ縄を大谷のものとして知って...

こういう事を
知っていく
プロジェクト

もっと色々な活動が
できるんだろうな...
見学が自分だけなんて
もったいない...!



と感じた。

大谷版Takt?!

Iclaについて

Takt@草薙

草薙カルテッドが母体
学生が運営

Icla@大谷

ESUNEが母体
学生が運営

交流



おもしろいチャレンジもたくさん!!

大学生による
野球教室



あむらホ"
大学生×中高生



歩くもモビリティ資源

高齢者の「モビリティ」
ある足腰にもっと注目
が集まると良いなあ。

森さん



コミュニティについて

いつでもどこでも頼れる所があると...

Ex) 草薙 カルテッドのような所

- どこに どんなものを
- だれが 持っているか

を洗い出すことがコミュニティづくり
の第1歩

↓ 今更考えてたい...!!

イベントの
継続

コミュニティの
拡大



バンビノプロジェクトのヒアリングより

地域に伝わるお話も資源として
生かせるのでは?

沼の
ばあさん



不動産 など

遠藤 先生



大谷の場合は

静岡大学 がある

大切なのは楽しめる場がある

ハードル低く色んな人が集まる
機会をどれだけつくれるか...?

地域とつながるチャンネルをどれだけ
つくれるかが大切

例) 少年野球



誰かやるのだから?

個人

団体

草薙カルテッドとは?

草薙地域にアクションの出来る組織を作ろうと発足された。

※キーパーソンは2人!!

地域に顔が
広く知れる人

突破力のある人



ヤマモトさん



ハナサキさん

Taktのヤマモト
さんのような立ち回り
ができれば...



学生を資源としてとらえて 集まる場 を作った

実社会でのチャレンジを
応援している

盛り上がりを作って場
づくりができればはじめた。

草薙カルテッド
にも西さんという
学生時代からの
キーパーソンがいる!

会の目的

地域ならではの弱み、強みを出して、まちの皆さんの
できること、できない事、考えている事の共有



阿部教授

移動という点で...
大谷の特徴//
企業、大学生が多い
昼間 人が多い

夜は大学生が飲み歩いている事も
⇒ 朝から夜まで人が来る土地或
静大生だけでも大谷に
6,000人も通学している!
シェア という考え方を取り入れると
モビリティの選択肢が増えそう

大学生の事情

バス通学

雨の日に
交通が
滞ってしまう



東静岡発を復活させてほしい
分散 多様化

今村さん

普段は
自転車や
原付通学とい
う人も乗るため...



中恒さん

下宿
自転車
での移動で
感じる事

パルク
増やしてほしい

道が暗く
夜が怖い

モビリティの考え方

モビリティそのものは目的ではない
=モビリティ事業の必ずかき

より早く 手段
より安く

目的

選択肢を増やすことはとても良いこと。
道路、またそのものかを考えると「多様な人に優しい道路」
をつくらねと良いと思う。

各地の事例だて...



乗り合い
タクシー

- バスより安価
- タクシーのような使い方が可能

予約制...ニースを言明ることが可能 → より便利に
流動的なニースに対応できるモビリティもつ地域は
ミリオック的では!



金森准教授

地域のコミュニティとモビリティも考える

小学校区土域のボランティア活動

親子3代
つづく土地或
盛ん

ボランタリー
活動

ニュータウン

ボランタリー
輸送失敗

“自家用車を持たない生活スタイル”を 提案できるとこれからの時代にマッチするかも!!



学生

車がないでも
この地域で生活
できるかも!



高齢者

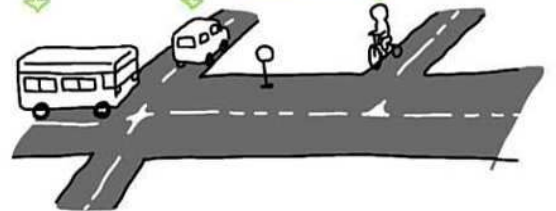
今後の計画のポイントは...

担い手 鉄道会社
バス会社など

担い手 地域に住む人が自分事
として考え、自らの手でつくる

主要道路
バスなどの
公共交通機関

それをつなぐ“モビリティ”
シェアサイクルや乗り合いタクシーなど
地域のリソースを生かしたモビリティ
地域の人のやる気とリソースの調整
が必要



地域のニースをおさえて、主要道路とそれをつなぐモビリティ
を考えながら地図へ線を引くこと